
「 鬱で頭に... 」

無水

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「鬱で頭に…」

【Nコード】

N9560P

【作者名】

無水

【あらすじ】

あれは、重い鬱になった時だった…

あれはいつの事だったであろうか…
そうだ…梅雨の時期であつた…

降り注ぐ雨の日々に気持ち沈み、何もかもが億劫になっていた。
お風呂には週に一回くらいしか入れず
外へ出掛ける事も出来ずに、家の中で引き籠もっていた。

家の中は湿気が多くなっていて、それがより気持ちを沈ませ
殆どを寝て過ごす日々を送っていた。

ある日、目覚めると頭部にかゆみを覚え
寝ぼけながら、ぼさぼさになった頭部へと手を伸ばし
かゆみを緩和させる為に掻こうとすると
何やら弾力感のある突起物へと手がぶつかった。

寝ぼけた頭のままふらふらと
その、気になった突起物を確認する為に
鏡の前へと移動して確認してみると…

「キノコが生えている!？」
寝ぼけていた頭が一気に覚め
少しの間その頭に生えたキノコを眺め呆然としていた。

何故、頭部にキノコが?という深い疑問を抱きつつも
取り合えずは、そのキノコを除去する為に、少し引っ張ってみた。
「い、痛い…」

何故だかキノコに神経が通っている…。

簡単に除去出来なかった為に
また少し呆然としながら周囲を見回すと
ホコリが舞っているような部屋の様子に気付いた。

そのホコリを注意深く観察すると

何やら上の方から降り注いでいるのが解り

「鏡の上にホコリが出るような物があつたかな?…」

と思いながら視線を上の方へとやると

「孢子が…孢子が…!」

部屋に舞っていたのはホコリではなく

頭部から生えたキノコが飛ばす孢子であつた。

大きな戸惑いを覚え、鏡の前でぐるぐると回りながら
混乱した頭で考えていると

床に点々とした小さな物があるのに気付いた。

「何だろう…?」

と思いながら腰を下ろし、じっくり観察すると

「キノコが生えている!?!」

その点々とした物は生え始めたキノコであり
その生え始めたキノコを目線で追って行くと

鏡の前から寝室へと生えていた。

どうやら、鏡の前へ来るまでの間に

孢子を撒き散らして来てしまったようだ。

「どうしよ…?どうしよー!?!」

これじゃゴミ屋敷じゃなくて、キノコ屋敷になっちゃうよ!?!」
と混乱しながら叫び、続けて

「てか俺、キノコ星人じゃん!？」

(後書き)

フィクションです。

2010/12/04
作

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9560p/>

「 鬱で頭に... 」

2011年1月8日20時04分発行